

## 財政金融研究所の活動状況（平成2年10月～平成2年12月）

## 1. 内外研究交流の推進

## (1) 海外との共同研究

平成2年10月23日～25日の3日間、当研究所、(社)研究情報基金(FAIR)、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)の共催により、「転換期の金融資本市場における諸問題」と題した国際シンポジウムを開催した。このシンポジウムの概要は以下の通り。

レセプション（10月23日）	
◎スピーチ 長富祐一郎（大蔵省財政金融研究所長） Mr. David Walker (Chairman, S. I. B.)	Division of Banks Financial Establishments, E. E. C.) 報告者 成瀬知則（東京銀行常務取締役 欧州駐在兼ロンドン総支配人） 討議者 Mr. Joseph A. Bisignano(B. I. S.)
第1日（10月24日）	
◎開会挨拶（AM9:15） （欧州側）Prof. Charles Goodhart (L. S. E.) （日本側）平澤貞昭（研究情報基金理事長）	◎第4セッション（PM4:30～6:00） テーマ 「資本市場」 報告者 Prof. Anthony Neuberger (London Business School) 報告者 中沢信雄（野村証券常務取締役 欧州本部長） 討議者 山下直家（日本銀行国際局次長） 討議者 Mr. Andrew Winckler (European Capital & The Securities Association)
◎基調講演（AM9:30） スピーチ 行天豊雄（プリンストン大学 客員教授）	◎ディナー スピーチ Mr. Andrew Crockett(Executive Director, Bank of England)
第2日（10月25日）	
◎第1セッション（AM9:30～11:30） テーマ 「東欧」 報告者 Prof. Norbert Walters (Chief Economist, Deutschebank) 報告者 Mr. Matthew Olex (Ministry of Finance, Poland) 討議者 豊田 博（大蔵省国際金融局 調査課長） 討議者 薬師寺泰蔵（埼玉大学教授）	◎第5セッション（AM9:30～11:30） テーマ 「規制」 報告者 Mr. Giovanni Carosio (Banca D'Italiana) 報告者 佐藤光夫（東京証券取引所 専務理事） 討議者 Mr. Robert Wilkinson(L. S. E.) 討議者 森信茂樹（日本輸出入銀行海外投 資研究所主任研究員）
◎第2セッション（AM11:50～1:20） テーマ 「欧州通貨統合」 報告者 Mr. Joseph Grice (Her Majesty Treasury) 報告者 久保田勇夫（海外経済協力基金 総務部長） 討議者 Prof. Francesco Giavazzi (University of Bologna)	◎クロージング・リマックス（AM11:20～12:30） （日本側）堀内昭義（東京大学教授） （欧州側）Prof. Charles Goodhart(L. S. E.)
●昼食（PM1:20～2:30）	
◎第3セッション（PM2:30～4:00） テーマ 「欧州銀行業の構造変化」 報告者 Mr. John Carr (Directorate General, Financial Institutions & Company Law.	

<p><u>統一テーマ</u></p> <p>「転換期の欧州の金融資本市場における諸問題」</p> <p>東欧の自由化，E C 統合，欧州通貨統合といった世界システムの変革は欧州の金融資本市場，ひいては世界経済にどのような影響を与えるのか。その中で各国は何をなすべきか。</p> <p><u>各セッション討議内容</u></p> <p>◎第1セッション「東欧」</p> <p>東欧の自由化（特に市場経済への移行の動き）が欧州及び世界の金融資本市場にどのような影響を与えるか。</p> <p>◎第2セッション「欧州通貨統合」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 欧州通貨統合の現状と将来の問題点は何か。</li> <li>2. 欧州通貨統合は国際金融システム及び世界経済へどのような影響を与えるか。日本の経済・金融面での役割に変化は生じるか。</li> </ol> <p>◎第3セッション「欧州銀行業の構造変化」</p> <p>E C 統合，欧州通貨統合，東欧の自由化といった近時の大きな変革が欧州の銀行業（ホールセール，リテール）の構造と活動をどのように変化させるか。</p>	<p>◎第4セッション「資本市場」</p> <p>現在，規模・構造・運営とも異なる欧州各国の資本市場間に統一的システム（情報，ディーリング，決済等のシステム）を採用していく必要があるか。</p> <p>◎第5セッション「規制」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 欧州及び世界の金融市場が融合していく中で各国の規制をどこまで統一していくことが必要であり望ましいか。</li> <li>2. 規制原則を決定する際，各国規制当局と国際的機関との間の役割分担はどうあるべきか。</li> <li>3. 銀行規制についてB I S が果たしたような有効な役割を，証券規制についてI O S C O は果たしうるか。</li> </ol>
--	--

（役職等は開催時のものである。）

## 2. 研究会の開催

当研究所では，ワークショップ，ミニ・コンファレンス等の形式で，行政担当者，大学や民間の研究者，学識経験者などが会合し，中長期的な視野から自由な意見交換を行っている。最近の開催状況は以下の通り。

### (1) 国際政治経済システム研究会

座 長 佐藤誠三郎（東京大学教授）

平成2年11月26日 第5回

報告者 長富祐一郎（大蔵省財政金融研究所長）

テーマ 「三大経済圏の主要経済指標」

報告者 佐藤誠三郎（東京大学教授）

テーマ 「中東危機と世界システムの変化」

(2) 金融構造・政策効果研究会

座 長 館 龍一郎（東京大学名誉教授）  
主 査 伊藤 隆敏（一橋大学教授）  
植田 和男（東京大学助教授）  
堀江 康熙（日本銀行考査局考査役）  
吉川 洋（東京大学助教授）

平成2年11月2日 第6回

報告者 新原 芳明（大蔵省国際金融局総務課参事官）  
テーマ 「外国為替等審議会中間報告について」

報告者 奥村 洋彦（野村総合研究所取締役）  
テーマ 「最近の金融メカニズムの変調について」

(3) アメリカ研究会

アメリカの産業競争力，産業政策，その他社会・経済構造の現状及び問題点について分析を行い，アメリカの再活性化とそのための日本の役割について検討する。

座 長 島田 晴雄（慶應義塾大学教授）

平成2年10月8日 第1回

報告者 島田 晴雄（慶應義塾大学教授）  
テーマ 「世界の構造変化とアメリカ アメリカ産業の現状と問題点」

平成2年12月20日 第2回

報告者 依田 直也（東レ経営研究所専務取締役）  
グレン・S・フクシマ（日本A T & T総合政策本部長・事業開発本部長）  
テーマ 「アメリカの産業政策の現状と問題点」

(4) ヨーロッパ研究会

世界システムの変化の中でヨーロッパ経済はどのような位置を占めていくのか，またその中で日欧関係はどうあるべきか，を中心に政治及び社会構造面の分析を交えながら研究する。

座 長 薬師寺泰蔵（慶應義塾大学教授）

平成2年11月26日 第1回

報告者 薬師寺泰蔵（慶應義塾大学教授）  
テーマ 「ソ連・東欧の自由化とヨーロッパ情勢」

(5) 日本経済研究会

日本経済の持続的発展が今後とも可能か、問題点は何か、政策対応はどうあるべきかについて、長期的視点に立って展望する。

座 長 公文 俊平（国際大学教授）

平成2年11月30日 第1回

報告者 長富祐一郎（大蔵省財政金融研究所長）

テーマ 「日本経済の現状について - ソフト化の視点から - 」

(6) 消費動向研究会

座 長 山崎 正和（大阪大学文学部教授）

平成2年10月5日 第5回

報告者 建部 直也（日本興業銀行フィナンシャル・エンジニアリング部長）

テーマ 「消費の変遷と新しい消費理論の展望」

(7) アジア・太平洋金融・資本市場発展研究会

座 長 大場 智満（(財)国際金融情報センター理事長）

主 査 河合 正弘（東京大学助教授）

平成2年10月3日 第4回

報告者 奥田 英信（日本輸出入銀行海外投資研究所研究員）

テーマ 「フィリピンの金融・資本市場」

報告者 野見山 豊（大和銀行国際企画部部長代理）

テーマ 「インドネシアの金融・資本市場」

平成2年11月21日 第5回

報告者 青木 章（三井銀総合研究所環太平洋研究センター副主任研究員）

テーマ 「タイの金融・資本市場」

報告者 澤田 樹徳（太陽神戸三井銀行国際本部アジア部華僑室長）

テーマ 「華僑資金の動向」

報告者 河合 正弘（東京大学助教授）

テーマ 「中間総括」

(8) 為替変動の影響研究会

座 長 山澤 逸平（一橋大学教授）

主 査 石山 嘉英（日本アイ・ピー・エム経済調査担当部長）

平成2年10月22日 第5回

報告者 足立 文彦（名古屋大学助教授）

テーマ 「アジアの貿易動向，特に日本商品への需要」

報告者 木村 嘉秀（大蔵省関税局国際調査課課長補佐）

テーマ 「米国，E C の貿易動向，特に日本商品への需要」

(9) 海外直接投資研究会

座 長 渡辺 昭夫（東京大学教授）

主 査 桜井 眞（三井海上基礎研究所研究部長）

平成2年10月1日 第4回

報告者 早川 博之（東京銀行海外投資部長）

テーマ 「アジアに進出した企業の経営課題 - 労務管理面を中心として」

平成2年11月13日 第5回

報告者 森 和重（三井物産関連事業部長）

テーマ 「海外直接投資の被投資地域に対する効果と問題点」

（報告者の役職については，研究会開催当時のものである。）